世界メンタルヘルスデー映画上映会 in KOBE 2022

2022年10月2日（日）

開映　13:00～ (受付開始 12:30)
パネルトーク　15:00～17:00

◇全国イベント（裏面）とオンラインでつながります

参加費500円　定員50名まで

◇事前申し込みが必要です

会場　デザイン･クリエイティブセンター神戸（KIITO）3階 303

※会場へのお問い合わせはご遠慮ください
※感染症対策としてマスクの着用、受付での検温などのご協力をお願い致します

精神科病院に長期入院する患者の「夢（沖縄旅行に行きたい）」を実現させることをきっかけに，長期入院の現実をユーモラスに描いた、笑って、泣けるドキュメンタリー映画　(2018年製作/81分)

お申し込みは
こちらから→

世界メンタルヘルスデーとは世界精神衛生連盟（WFMH）が、1992年よりメンタルヘルス問題に関する世間の意識を高め、偏見をなくし、正しい知識を普及することを目的として、10月10日を「世界メンタルヘルスデー」と定めました。その後、世界保健機関（WHO）も協賛し、正式な国際デー（国際記念日）とされています。
厚生労働省「世界メンタルヘルスデーJAPAN2022特設サイト」より引用

企画：世界メンタルヘルスデー映画上映会 in KOBE 2022 実行委員会
主催：一般社団法人 belle vie（ベルヴィ）
共催：Tomy's Action Club、㈱パパゲーノ

お問い合わせは、✉ mentalmoviekobe@gmail.com
一般社団法人belle vie映画上映担当まで、メールでお願い致します。

精神科病院に長期入院する患者の「夢（沖縄に行きたい）」を実現させることをきっかけに、「精神科病棟の長期入院」の現実をユーモラスに描いた、笑って泣けるドキュメンタリー映画。大阪府堺市・浅香山病院の精神科病棟に長期入院する患者が旅行する経緯や、参加者に起こった変化を見つめる。監督は大西暢夫さん。ドキュメンタリー映画『水になった村』、『家族の軌跡～3.11の記憶から』を製作し本作が三本目。月刊『精神科看護』（精神看護出版）の取材で全国の精神科病院を撮り続け、患者と寄り添う取材が続く。

Peatixページはこちら

オンライン上映会

①2022年　9月27日(火)：13時～15時
②2022年　9月27日(火)：19時～21時
③2022年　9月29日(木)：13時～15時
④2022年　9月29日(木)：19時～21時

オンライン上映会+パネルトーク等

⑤2022年10月　2日(日)：12時45分～17時

事業所などの活動での上映(上映料金無料)も可能です。
例:デイケアの活動や地域活動支援センターのプログラム、学校の授業など

tomys-cinema2022.peatix.com

この企画は皆様の熱い寄付（クラウドファンディング）で開催いたします。
ご協力を宜しくお願い致します！

クラウドファンディングページはこちら

主催：世界メンタルヘルスデー映画上映プロジェクト2022
共催：TOMY’S ACTION CLUB、(株)パパゲーノ